

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名:東温市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
伊予鉄バス株式会社	白猪滝口～東温市役所 【河之内線の一系統】	4000世帯へのアンケート調査及び、山間路線沿線の9地区で住民意見交換会を開催し、各地域における課題やニーズの把握を行った。 定期的に利用者数を調査により状況把握に努めるとともに、公共交通マップの配布や、広報誌への公共交通に関する情報の掲載、転入者へのモビリティマネジメントの実施など、利用促進に繋がるような取組を引き続いて行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 河之内線について ・【結果】利用者数 3.3人/便 目標:利用者数 3人/便 目標達成率: 110.0% (前年比:106.5%) (前々年比:117.9%)  ・【結果】利用者一人当たりの収支差 ▲987円 目標:利用者一人当たりの収支差 ▲970円 目標達成率:98.2% (前年比:105.6%) (前々年比:119.7%)  ・【結果】公的負担額3,325千円 目標:公的負担額3,437千円 目標達成率:103.3% (前年比:101.8%) (前々年比:98.9%)  ・運賃改定の影響もあり、前年に比べ利用者1人あたりの収支は改善したものの目標達成とはならなかった。燃料の高騰等は変わらず続いており、厳しい状況ではあるが、市の広報誌やSNS等による積極的な情報発信により、更なる利用者数の増加を図ることで、目標達成を目指す。	今年度、東温市地域公共交通計画の改訂を進めており、市内4000世帯にアンケート調査及び、山間路線沿線の9地区で住民意見交換会を開催し、地域での公共交通の利用状況や地域にあった公共交通のニーズについて調査を行った。 上記調査結果を踏まえ、地域の意見も取り入れた公共交通計画を策定し、交通事業者との調整を図りながら、地域の課題に合った満足度の高い持続可能な公共交通となるよう、再編の検討を進めていく。 今後も公共交通に関する情報を発信し、利用促進に繋げる取組を実施することで目標達成を目指す。